

飼育ケージにおけるトキの飼育再開について

1 飼育ケージに関する経過

■平成 26 年

- 10 月 野生復帰ステーション内に飼育ケージ竣工 (10/29)
- 11 月 飼育開始 (11/7 に 17 羽、11/11 に 7 羽を移動、計 24 羽)

■平成 27 年

- 2 月～4 月 飛翔による個体同士の衝突等により計 4 羽が死亡
- 8 月 飼育の専門家等による事故防止対策に関する現地ヒアリング実施
- 10 月～12 月 事故防止対策のための工事(「パニック飛翔の防止」、「飛翔速度の抑制」、「落下時の衝撃緩和」)を実施

■平成 28 年

- 1 月 飼育再開 (1/12 に 5 羽を移動)

2 今後の飼育の進め方

ケージ内のトキの行動の様子等について経過観察を行いながら、より安全かつ健康な状態で飼育が行えるよう、適正な飼育羽数及び管理方法等について、慎重に検討・調整を進める。



飼育ケージ(全景)



パニック飛翔の防止(ケージ側面等への着色)



飛翔速度の抑制(ケージ中央部へのネット追加)



落下時の衝撃緩和(地面への緩衝物の設置)